

サバイラ 身体診察のアートとサイエンス 原書第4版

Jane M. Orient 原著 須藤 博, 藤田芳郎, 徳田安春, 岩田健太郎 監訳

本書はサバイラ Dr. Joseph D. Sapira による“Sapira’s Art & Science of Bedside Diagnosis”の第4版(2009)の邦訳である。1989年の初版以後、原書は Dr. Jane M. Orient によって著されている。不思議な本と感じるかもしれないが、臨床の神髄、醍醐味が盛り込まれている。臨床の基本を患者との関係性(診る、聞く、話す、触る)から始め、記録し、分析する——。単なる臨床診断学というよりは、長い歴史の上に蓄積された経験値を論理的に考える過程で構築されてきた、医師と患者の「信頼」の歴史をひもといているのだ。

現在の臨床の現場では、えてして「効率、コスト、検査」から始まり、ともすれば患者不在の「検査データに基づく現代風デジタル診療」と指摘される。そこから患者と医師の「信頼」関係が薄れ、医療事故や訴訟などへ発展するかもしれないと不安な、医学生、研修の現場への応援の書ともいえる。臨床は「アートとサイエンス」の神髄の伝統であり、その伝統を自分自身も継承してきた優れた先輩医師の気持ちだろう。これが良い伝統を次の世代へと受け渡す「好循環」の基本なのだ。このあたりが、このサバイラ本の面目躍如というか、他の臨床診断学の教科書と違うところだ。

では、この本をどう生かすか。まずは1章、2章を読んでみる。その先の章も折に触れて目を通してみることをお勧めする。臨床の基本が実に細かく丁寧に書いてある。そして各章とも面白い。奇妙な図、古い写真などがいくつも出てくる。この本の最後、29章の文献の解説も面白い。診察の基本はあまり変わっていないことがわかるだろう。

臨床の現場で患者さんを「診て、聞き、話し、触り」ながら、診察を進める、仲間と議論してみる、相当する所見についてこの本に目を通して見る、そこで学んだ事項をまた患者さんの観察へ戻してみる。病態生理、

診断、検査ほかのことは、その時その時に、日本語、英語の教科書、専門書、そして英語、邦訳のハリソン、また UpToDate などを読んでみることだ。そのプロセスを繰り返すことで、臨床現場の経験は生きてくる、自分の血となり肉となつて、知的好奇心に満ちた、経験豊かな医師に成長していく。自分の知識ばかりではなく、論理的に臨床を理解し、患者さんと交流を繰り返すことで、臨床の伝統と醍醐味を継承する医師へ成長していく。このような患者との交流と、医師の「手のタッチ」¹⁾が、医師と患者の「信頼」の根幹にある。そのような医師と患者の間の本来の伝統を引き継いでいってほしいということが、サバイラ先生が本書を執筆するに至った動機なのだ。

本書は、これからの臨床現場でもっと大事なことを教えてくれるのではないか。20世紀の科学・技術の進歩は人類の歴史でも極めて輝かしい大きな成果を上げた。20世紀初めの1901年に始まったノーベル受賞者のリストを見てみれば、その急速な進歩と社会へのインパクトは驚くばかりであろう。医療も例外でない。この50年ほどのことだが、私たちは大きな恩恵を受けてきた。だが一方で、この恩恵を最も大きく受けてきた先進国の医療の現場では、高齢社会、生活習慣病など慢性疾患、貧富の差の拡大、公的資金の欠乏から、医療制度改革はどの国でも大きな政治問題になっている。

医師のあり方が専門医中心へと進歩したものこの50年のことだ。だが社会から見れば医療現場では専門医より「家庭医、総合内科医、プライマリ・ケア」が中心になる時代へと変わり始めている。専門医志向で進んできた医師の在り方の転換もなかなか難しい。医療制度改革はどの国でも大きな社会的・政治的課題なのだ。さらに医師であることが社会的に高い信頼と地位の高いものであった時代も変わりつつある。

デジタル技術の広がりには素晴らしいが、医師と患者の間の「信頼」は、医師の「診る、聞く、話す、触る」にこそある。それは時代を超えた、人間と人間の関係なのだ。「これこそ医師としての価値の中心であり、『知的職業』としての医師の醍醐味ではないのか」と問いかけている。それがサパイラのこの本なのだ。

これを訳そうと企画し、実行した須藤博さんをはじめとする監訳者たちと、この大変な事業に参加してくれた皆さんに感謝している。

1) 'A Doctor's Touch'

http://www.ted.com/talks/abraham_verghese_a_doctor_s_touch.html

政策研究大学院大教授／日本医療政策機構代表理事／東大名誉教授 黒川 清

B5 頁 888 2013 年

定価 12,600 円（本体 12,000 円＋税 5%）

[ISBN978-4-260-01419-9] 医学書院刊